

活動名	定時制高校に通う高校生に「つながり」を届けるプロジェクト	団体名称	認定NPO法人D×P（ディーピー）
		活動テーマ	経済的困難を抱える子どもを支援する活動
		活動の目的	⑧その他
■活動結果（概要）		■実施スケジュール結果	■各スケジュールごとの活動内容
<p>当プロジェクトは、定時制高校に通う高校生が同級生との「横のつながり」と大人との「地域のつながり」を得ることで、将来を前向きに考えられるようになることが目的です。</p> <p>定時制高校には経済的困窮状態にある高校生が多く在籍しています。また、中退率が高く、人とのつながりを構築できないまま中退に至り、社会に放り出されているという現状があります。</p> <p>当取り組みでは、地域の社会人ボランティアと対話する授業プログラムとアンケート調査を実施し、受講した高校生の社会関係資本の指標の向上を目指します。</p>		<p>2017.9 募集説明会実施</p> <p>2017.10～12° oughram 実施</p> <p>2017.12アンケート実施</p> <p>2017.12 募集説明会実施</p> <p>2018.1～2° oughram 実施</p> <p>2018.3アンケート実施</p> <p>2018.4～7° oughram 実施</p>	<p>・2017.9ボランティア募集説明会開催。社会人ボランティアの募集説明会を無料にて開催します。可能であれば学校内で開催し、地域住民の参加を呼びかけます。</p> <p>・2017.10～12プログラム実施 定時制高校A校にて、全4回のプログラム「クレッシェンド」実施。</p> <p>・2017.12 実施前及び実施後のアンケート実施</p> <p>・2017.12 募集説明会実施（同上）</p> <p>・2018.1～2プログラム実施（同上）</p> <p>・2018.4～6 プログラム実施</p>
■活動目標	定時制高校に通う高校生が同級生との「横のつながり」と大人との「地域のつながり」を得ることで、将来を前向きに考えられるようになることが目的です。		
■長期成果	<p>■ 中期的成果：授業を導入した学校（学年）の、進級率向上・中退率減少</p> <p>■ 長期的成果：他定時制高校にも波及し、定時制高校の中退率が下がる。それにより、つながりを持たないまま社会に放り出される10代が減少</p>		
活動風景			
		<p>クレッシェンド 人に自分のことを話してもいいと答えた生徒</p> <p>1日目 29% → 最終日 45% とてもそう思う</p> <p>クレッシェンド 自分にも何かできるかもしれないと思う生徒</p> <p>1日目 25% → 最終日 44% とてもそう思う</p> <p>初回の授業と、最後の授業後に行われたアンケートにおける指標の変化をグラフにしました。</p>	
オトナが高校生に過去の経験について話します	カプラなどの遊びを通してオトナと高校生が関わり、対話していきます。		
■得られた成果と今後の課題	■受益者や地域社会の変化	■得られたノウハウの共有・発信	
<p>【つながりに関する指標の向上】 プログラム前後のアンケートで「人に自分のことを話してもいい（人を信頼するハードルが下がっている状態の指標）」に「とてもそう思う」と回答した生徒は、初回29%→最終45%に向上しました。</p> <p>【ワークマニュアル等完成と年度末アンケートの実施】 同時並行で業務効率化なども進めていき、ワークマニュアル制作・会議プロセスの明確化・相互コミュニケーションの促進・コンテンツの定型化が行われました。また、年度末アンケートの調査票を作成・実施することができました。</p> <p>【今後の課題】 1年間の業務改善を通して、私達が痛感したのは「高校生との関わりに正解はない」ということです。何かをゴールにしたり、決まった枠組みに眼の前の人をあてはめずに、ひとりの高校生のことを考え続けることで、質の高いプログラムが生まれます。よって、組織として行うのは「スタッフが高校生のことを考え続けるための仕組みづくり」であり、今後「改善会議（仮）」を月2回実施するなかで質を高めていきます。</p>	<p>【受益者の変化：将来を前向きに考えられるようになったか？】 プログラム前後のアンケートで「自分にもなにかできるかもしれない」に「とてもそう思う」と回答した生徒は、初回25%→最終44%に向上しました。</p> <p>【地域社会の変化】 プログラムに参加した地域の大人（ボランティア）からは「この学校の定時制の生徒ってこんな感じだったんだ」という声が聞かれたり、「否定しない姿勢で高校生と関わることを通じて自分のことを振り返りました。自分が高校生に教えてもらうこともあり、すごくいい時間だった」という声があがりました。 日頃接点のない高校生との関わりを得て、フラットな関係性のなかでそれぞれの発見を得ていたようでした。</p>	<p>【得られたノウハウの共有】 成果欄にあるとおり、ワークマニュアル等は組織内で共有されているが、一部運用ができていない（共有されていないスタッフもいた）ケースもあったため、今後の運用は課題です。</p> <p>【情報発信】 助成対象のプログラムの一部は、学校の許可を得てこのようにレポートされました。 https://www.dreampossibility.com/activity-report/11176 また、高校生のインタビューも掲載されました。 https://www.dreampossibility.com/activity-report/12337 さらに、細かい取り組み内容を即時的に発信することは難しいですが、TwitterなどSNSで定期的に取り組みの報告をしています。 https://twitter.com/npo_dxp</p>	
〒 540-0032 (住所) 大阪市中央区天満橋京町1-27ファラン天満橋33号室 (団体名) 認定NPO法人D×P（ディーピー） (ホームページ) : http://www.dreampossibility.com/		助成金額 980,840円	助成期間 H29.9.1～H30.8.31

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。